

(別紙)

「戦略的な企業誘致の推進プラン（中間案）」に係るパブリックコメント  
の要旨及びこれに対する府の考え方

項目	意見の要旨	府の考え方
誘致対象の重点化について	○ 景気の動向に左右されにくい食品関連産業にターゲットを絞るのも一案である。幸い、京都府には丹後や南丹の食品に関する豊かな地域資源がある。誘致対象の重点化を図る戦略もあるのではないかと。	□ 国内での生産拠点を維持していく上で、食品関連産業などいわゆる内需型産業を重点的に誘致する必要性はご指摘の通りと考えています。 今回のプラン改定において、地域の特性を活かした産業集積を促進することとしており、丹後や南丹も含め、地域資源に着目した産業集積を促進していきたいと考えております。
地域特性を活かした産業集積について	○ 地域特性を活かした産業集積とあるが、具体的に地域特性とはどのようなものか。中北部地域について地域振興や雇用確保の観点からどのように取り組まれるのか。	□ 現在京都府内各地では、「明日の京都」に基づいた「みやこづくり」を進めており、地域特性を活かした産業集積を図っていきたくと考えております。 中北部域については、今後飛躍的に良くなる交通アクセスや北部産業技術支援センター・綾部や丹後・知恵のものづくりパークなどで行われている高度人材育成などをアピールしながら企業誘致を進めていくこととしております。
海外流出に伴う国内産業空洞化について	○ このまま円高が続けば産業の空洞化は加速する。京都の特性として研究開発施設を中心とした産業構造として生き抜く可能性はあるが、理系以外の人材は就労ができなくなるのではないかと。	□ 京都のみならず国内の産業空洞化については、きわめて厳しい状況に直面していると認識しております。 今後も引き続き精力的に企業誘致及び企業の流出防止に努め、雇用の確保を図っていくこととしておりますが、改めて厳しい経済情勢について、アクションプランに反映したいと考えます。
企業誘致に対する取り組みについて	○ 企業誘致の失敗が続いている。財政面から考えても、企業体としての誘致の取り組みが必要である。	□ 企業の立地による地域経済への波及効果は極めて高いものであり、今後とも戦略的な企業誘致を進めていきたいと考えております。